

生命環境化学専門実験Ⅰ

実験 1A 「指示薬法による固体表面の酸塩基性の評価」 当日課題用ワークシート

班番号	氏名	教員チェック
学籍番号		

※ 実験時または実験完了後、テキストの当日課題に従ってこのワークシートに結果・考察等を記入し、必ず教員（TA は不可）のチェックを受けること。不備や未完成などの場合は終了としない。また班の全員がチェックを受け完了となるまで実験は終了しない。  
終了後は、このシート（右上にチェック済の印かサインを受ける）、および必要な週はレポート表紙を受け取り、後片づけ用チェックリストに従って器具等を整理し、実験を終了すること。  
また、このシートはレポート提出のときに一緒に提出すること。

.....  
課題 1 実験操作 1 で得られた、試料固体 A~D の 3 種の指示薬による色の観察結果を表 1 にまとめよ。

表 1 指示薬法による結果のまとめ

試料	プロモチモール ブルー	メチルレッド	フェノール フタレイン
固体 A [                    ]			
.....			
固体 B [                    ]			
.....			
固体 C [                    ]			
.....			
固体 D [                    ]			

課題 1 上の結果から、固体 A~D ではそれぞれ、どのような固体の酸塩基性（pKa の範囲）を有するか具体的に説明せよ。

固体 A :

固体 B :

固体 C :

固体 D :

課題2 実験操作2の結果から、酸点・塩基点を有する試料について、固体1gあたりに存在する酸点・塩基点の数を求めよ。(解説4を参照)

■	滴定を行った試料	滴定した溶液と濃度(mol/L)	滴下量 (mL)
1			
2			
3			